

「皇室典範の改正に関する意見書」甲賀市議会の論戦

なぜ「女性天皇・女系天皇ではダメなのか」世論は大勢

「皇室典範改正案」が国会で焦点となっていますが、甲賀市議会6月定例会では、皇室典範の改正に関し、日本共産党甲賀市議員団から「女性天皇を正面から議論すること」を求める意見書を提出、一方、瑞誠の会から「皇室の伝統に基づく安定的皇位継承を確保するための法整備の早期実現を求める意見書」が提出され、6月30日の議会最終日に討論・採決が行われました。世論調査では女性天皇に賛成が多数を占める中、瑞誠の会、凜風会の討論は、「男系男子による継承」に固執した内容で、世論に逆行するものです。討論の一部を紹介します。

女性天皇を正面から議論することを求める意見書

■富増力章議員が反対討論（瑞誠の会）

現在の皇室制度は皇室典範に基づき長年にわたり男系による皇位継承を基本として維持されてきた。国会において安定的な皇位継承の確保に向けた検討が継続されている状況の中で本意見書を提出する必要性や緊急性はない。

■岡田重美議員が賛成討論（日本共産党）
女性だから天皇になれないというのは

男女平等を掲げる憲法の精神に反する。世論調査で女性天皇に賛成が7割から8割を占め、男系男子での皇位継承に固執することは国民の総意とかけ離れている。広く国民的な議論が求められている。

採決の結果、賛成したのは無会派の福井議員と日本共産党の山岡・岡田・西山議員で賛成少数で否決となりました。

皇室の伝統に基づく安定的皇位継承を確保するための法整備の早期実現を求める意見書

■岡田重美議員が反対討論（日本共産党）

意見書案は、旧宮家の男系男子を養子に迎えるなどして皇族数を確保する皇室典範改正の実現を求めている。女性天皇女系天皇への道を閉ざし、男系男子による継承を固定化させる意図が根底にある。皇位の安定的継承をめぐる議論は、女性天皇・女系天皇も含め真に国民の総意に基づくものとなるよう、根本からやり直すべき。

■西田忠議員が賛成討論（凜風会）

皇室制度自体に否定的な考えを持つ

方々が皇室を制度的に変質させ、最終的には形骸化させて廃止へと導くための手段として利用しようとする意図を感じずにはいられない。天皇の男系の子孫であることが天皇の正当性の根幹であり、揺るがせてはならない建国以来の皇室の伝統。

採決の結果、反対したのは、無会派の福井議員と日本共産党の山岡・岡田・西山議員で賛成多数で可決となりました。

「議員定数と議員報酬はどうあるべきか」

全議員対象にアンケートを実施し、議論を開始

甲賀市が誕生して20年が経過しました。より身近でより開かれた議会に向けて、「議員定数」と「議員報酬」について、6月30日、全ての議員が参加して意見交換を行いました。

割の重さからすれば引き上げを「20年前妥当とした額がそのまま」「定数に関係なく引き上げを」「適正な額がわからない」などの意見がありました。

議員定数のあり方について

現行の24人のまま	9人	18人に削減を	1人
削減すればよい	12人	20人に削減を	2人
わからない	3人	21人に削減を	2人
		22人に削減を	7人

議員報酬のあり方について

現行の月額35万円のまま	3人	38万円2人、39万円3人
引き上げるべき	17人	40万円6人、45万円5人
わからない	4人	50万円1人

知事選挙 明るい滋賀県政をつくる会 坪田いくおさん健闘

任期満了に伴う知事選挙が5日投開票され、三日月大造氏が当選しました。「明るい滋賀県政をつくる会」の坪田いくおさんは、「憲法活かした県政」を掲げ、三日月県政がすすめる大型公共事業の見直しと、くらし優先の充実を訴えました。

候補者	甲賀市	全県得票	得票率
三日月 大造	21,557	297,036	66.1%
大すみ もとし	5,881	96,918	21.6%
坪田 いくお	2,342	39,044	8.7%
坂本 正明	1,046	16,245	3.6%



雨の中甲賀市内で訴える坪田氏

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2026年 7月 19日 第591号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044